

# 岐阜県立岐阜総合学園高校で防災の伝え手育成の授業

～ 高校生が小・中学校の防災講座の先生に ～

4月18日（木）、岐阜県立岐阜総合学園高等学校で環境テクノロジー系列2年生27名に、防災の授業を行いました。今年度は、学校と連携して「防災インフルエンサー」をする育成する新たな取組です。

水害から大切な命を守るため、これから地域の守り手となる土木系の生徒に、「守られる人から守る人へ」の意識改革を図り、地域の子どもたちへの防災の伝え手になることを目的に、伝え手育成のための授業を行うものです。

授業は13回（25時限）の実施を予定しており、9月以降に、実際に小・中学校において高校生が先生となって、児童・生徒に防災講座を行います。

今回はキックオフとして、学習の進め方や防災（水害・地震）全般について、説明しました。

この講座の様子は中日新聞に取材いただきました。

